

2025 年度学生による後期授業評価アンケートへの

教員からのコメント

■【稚内本校】ドローンプログラミング/伊藤良平

皆様ご回答ありがとうございます。

以下、コメントします。

■この授業に関する感想・意見について

>容量がもっと多いバッテリーが欲しかったなと思った。

これは自分もそう思います。ドローンの特性上、授業で使ったようなトイドローンは小型化や手軽さから様々な制約があるのですが、その中でやはりバッテリー周りがネックになってしまいます。今回の授業で使ったドローンは数年前に購入したものなので、バッテリーは多少なりとも劣化しているため特に消費が激しかったこともあります。追加でバッテリーを購入しようと様々なサイトを探し回ったのですが、どれも販売停止になってしまっていたので皆様に十全な学習環境を用意できなかったのは、自分が反省する点です。

>ドローンのカメラを用いた画像認識、カメラ映像の描写に苦戦した

普段は十分なスペックや安定した環境の PC で行う場合のカメラ操作、画像認識をする場合と比べてドローンを経由したことによるラグや処理の難しさなどを身をもって学ぶことができたと思います。また、カメラの描写についても、普段は「接続するだけで映像として取得できる」と思いますが、今回のように映像の撮り方そのものも自分で定義することで仕組みなどがわかったかと思います。ですが、結果を見るとうまく、ほとんどのチームが無事に映像取得・処理・動作ができていたと見受けられます。決して簡単なものではないので自信を持っていたいただければと思います。

■自身が学んだこと、反省していること

>反省点は、プログラムのエラーを自分で直すことがほぼできなかったことと、グループメンバーに頼りすぎていたこと。

今回はカメラ映像を遠隔で取得して処理をするプログラムを書く必要がありました。それに伴い当然プログラムを書く量も多くなり、処理も複雑になってしまったかと思います。様々な web サイトを参考にしてもらったこともあるかと思いますが、その際に処理の流れなどを自分で解釈しないまま変更を加えてしまうとコードは複雑化し、どこで何が起きているのかわからなくなってしまいます。プログラムそのものは単純な処理の組み合わせでしかないのに、難しそうなプログラムを細分化して考えられるようになれば、さらにレベルアップできると思うので心がけてみてください。